



双塔

カトリック新潟教会

2024年4月

No. 430

一枚に人生の11年間を、一つのあいさつに永遠の希望を

主任司祭 ラウール・バラデス

兄弟姉妹の皆さん、ご復活おめでとうございます！復活したキリストの光が、すべての悲しみ、罪、死のくらやみをうちはらわれます。

東方教会の伝統では、この数日間、人々は「キリストス・ボスコレセ（キリストはよみがえられました）」という挨拶を交わし、それに対して「ボイスティヌ・ボスコレセ（まことによみがえられました）」という返事をします。ロシアなどでは、今もその習慣が残っており、人々は今もその挨拶をかわすのです。共産主義の長い支配も、戦争や災難も、この美しい習慣を破壊しなかったことは興味深いです。おそらくそれは、聖土曜日の典礼で「輝かし復活したキリストの光、心のやみをてらすように」と表現されているように、闇が最も強いと思われるときにこそ、キリストの光が最も明るく輝くからなのだろうと私は思います。

今年、私たちも戦争や自然災害の不安の中で、主の復活の喜びの知らせを受けることになりましたが、キリストの弟子である私たちは、今年もまた主の救いを希望して信仰の道を歩み続けるのです。

『[わたしたちは、] 血と肉を備えているので、イエスもまた同様に、これらのものを備えられました。それは、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるためでした。』（ヘブ2,14-15）

今年は私たちも、東方教会の信徒が交わされるあいさつを借りて、キリストの復活がもたらす希望を強め、次の世代にその希望をつなげられたらと願っています。

さて、皆さんもご存知のように、11年間この小教区とともに歩んできた私は、あと数日で長岡に引っ越すことになりました。皆さんを通して私が受けた祝福はあまりに多く、1ページではとても書ききれません。皆さんとともに喜びや悲しみを分かち合うことが出来たことに深く感謝しています。広報担当の皆さんはよくご存じだと思いますが、私にとって、双塔の巻頭言を書くことは本当に難しいことでした。今回は特につらい作業になりました。本来なら皆さんお一人お一人に対して個人的に感謝し、自分の至らなかった点をもお詫びして、この素晴らしい数年間の感謝を示したいのに、この1ページににまとめることが不可能だからです。

ある方からいただいた短い別れの手紙にこう書いてありました。『まだまだ信仰心の薄い私ではありますが、一つだけはっきりわかることがあります。それは、ラウール神父様が神に愛されていらっしゃるって、神父様もまた、神様を、イエス様を、心から愛していらっしゃるということです。』これを読んだとき、この至らない私をこのようにご覧頂いたことに驚きました。しかしながら他方で、確かに、私たちの主への愛がどんなに不完全であっても、主が私たちを完全に愛してくださることは確かなのです。そしてこの良き知らせが、私たちの日々を明るく照らし、苦難の中で私たちを支え、弱さの中にある私たちを強めてくださるのです。

皆さんお一人お一人がこの福音（良い便り）に支えられて、これからも信仰の歩みを続けられることを願い、心から復活の希望の挨拶を申し上げたいと思います。

Christos voskrese（キリストス・ボスコレセ）！

Voistinu voskrese（ボイスティヌ・ボスコレセ）！

インフォメーション!

●聖書勉強会・はじめて教会を訪れる人のための聖書勉強会・信仰養成講座

主任司祭着任後に決定次第お知らせします。

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会）（野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 4月22日(月)、5月20日(月)、6月（田中神父様司式、日にち未定）、7月8日(月)

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

主日のミサと同様、感染症対策は個人の判断に委ねられています。

●お掃除についてお願い

センター研究室、2階ホール、台所は使用した方がお掃除をしてください。よろしくお願ひします。

●「異人池茶の間」～語らいの場～

センター1F研究室にて。インスタントコーヒー、紅茶、日本茶をセルフサービスでのご提供、無料で楽しめます。ぜひお立ち寄り下さい。皆様ご協力の上、楽しいひとときを分かち合ひましょう。

●特別講演のお知らせ

5月18日(土)14:00～ 会場：新潟教会 講師：西村桃子氏（シノドス議長代理）

5月の司祭研修のための西村氏の講演に、司教様より良い機会なのでシノドスの話を信徒にも聞いてもらいたい、とのお誘ひがありました。（詳細は分かり次第掲載します。）

そよかせ便り

●四旬節黙想会 3月2日(土)、3日(日)

ロレンゾ神父の指導で、2日は青山教会と合同、翌3日は新潟教会の黙想会が行われた。四旬節の『祈り、断食、施し』について、ご自分の経験も交えて話された。施しとは傷ついた人の傍に寄りそうことや自分が得意とすることを誰かに教えることも含まれる。少し我慢できることはないかと考えながら四旬節を過ごすことは大切であると話された。

33歳の時フィリピン人の司牧のために来日され33年になられた神父は4月から長岡に異動。3月3日の主日ミサが新潟教会での最後の司式となった。



●ラウル神父の二つの最終講座

・信仰養成講座 一知ってるつもり!?— 3月16日(土)

最終回のテーマはベネディクト16世の一般謁見演説より「聖アウグスチヌスの回心」。最終回だけでもとの参加者も加わり、教会の教えの土台となった偉大な人物の回心の歩みについて真剣に聞き入った。神父は、聖書のことばは自分に向けられたことばとして受けとめること、信徒の交わりとは地上的なつながりだけではないことなどを話され、講座は終了した。



・聖書勉強会 3月20日(水)

10年の間に参加者の顔ぶれも少なからず変わり、歳月の流れを感じて感慨深い。祝日であるにもかかわらず、いつもと変わらない参加数で、新発田からの参加も。最終回は「パウロとモーセの律法」について、使徒言行録やローマの信徒への手紙を開いて説明された。勉強会後にお別れの茶話会が行われ、和やかなひと時を過ごした。

2024年4月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
5日(金)	・ミサ10:00 (初金)
7日(日)	復活節第2主日 (神のいつくしみの主日) ・小教区評議会 (9:30ミサ後) ・英語ミサ (12:00) ・清掃日 (センター、外のトイレ; 英語ミサ後)
8日(月)	神のお告げ (祭日)
14日(日)	復活節第3主日 ・田中神父様、町田神父様歓迎会 (9:30ミサ後)
21日(日)	復活節第4主日 世界召命祈願の日 ・広報部会 (9:30ミサ後) ・清掃日 (聖堂、外のトイレ、センター; 9:30ミサ後) ・ベトナム語ミサ (12:00) ・総務部会 (9:30ミサ後 研究室)
25日(木)	聖マルコ福音記者 (祝日)
28日(日)	復活節第5主日 ・国際協力部会 (9:30ミサ後 研究室) ・教会維持費の整理 (9:30ミサ後 事務室)

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間

日曜日 (7:00、9:30) 英語ミサ (第1日曜12:00) ベトナム語ミサ (第3日曜12:00)
週日 (7:00、金曜のみ10:00)

ラウール神父様、岡神父様、ロレンゾ神父様、フック神父様 ありがとうございました!!

聖堂には霊的花束の募集箱が設置されました。信徒それぞれの思いを込めた祈りがおこなわれます。

私たちは4人の神父様の一斉の異動に接し、神父様たちに見守られ、導かれていたことを感じました。お忙しい中にもかかわらず、長い間、たくさんの原稿を書いてくださり、広報部の活動に協力していただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。どうぞお元気で!(広報部一同)

